

議員報酬の一部を東日本大震災の被災地・宮城県東松島市に寄付



東松島市から維新の会市議団に感謝状をいただきました

昨年末、大阪維新の会所属の枚方市議会議員7名で、東日本大震災の被災地である宮城県東松島市に対して、被災者支援及び復旧復興支援への寄付金として410万円を寄付しました。

私たち大阪維新の会では「身を切る改革」の一環として、議員報酬の削減を掲げています。

枚方市議会では、今任期の初年度に当たる令和元年度に議会改革懇話会を設置し、議員報酬のあり方について

議論を重ねてきました。

この議論の中で、私たち市議団からは議員報酬の削減を提案しましたが、意見の一致をみることなく、残念ながら実現することができませんでした。

そこで、大阪維新の会所属の議員は、市議会での報酬削減が実現するまでの間、自主的に報酬の一部を被災地に寄付することを決め、これまで台風19号で被災した長野県や豪雨で被災した長崎県波佐見町に寄付を行ってきました。

今回は2011年の東日本大震災の際に枚方市から支援員として職員を派遣し、また2018年の大阪北部地震の際には枚方市に職員を派遣していただくなど、災害支援を通じて交流がある東松島市に、少しでもお力になれたらとの思いで、寄付をさせていただきました。

今後も「身を切る改革」を実行していくとともに、被災地に対しても様々な形で支援を続けていきたいと考えています。

日本維新の会/大阪維新の会枚方市支部決起大会

吉村代表が激励

「枚方市支部マニフェスト2023」を発表

日本維新の会/大阪維新の会枚方市支部決起大会を、1月28日、総合文化芸術センターで開催しました。

吉村洋文代表も会場に駆け付け、枚方市支部のメンバーに対し、激励のメッセージをいただきました。

私も今任期4年間の取り組みをはじめ、枚方市支部マニフェスト2023の発表や決意表明を行いました。



かじや知宏 プロフィール

＜経歴＞昭和43年9月12日、枚方市に生まれる。阪保育所、殿山第二小学校、第三中学校、牧野高校、龍谷大学文学部社会学科社会福祉学専攻を卒業。(株)報知新聞社での11年間の勤務を経て、かじや行政書士事務所開業。大阪府行政書士会綱紀委員、同企画広報部副部長、同枚方支部副支部長、NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議理事、中司宏事務所政策スタッフ等を歴任。＜現在＞枚方市議会議員(2期目、大阪維新の会枚方市議会議員団代表、教育子育て常任委員会委員長、議会運営委員会副委員長等)、かじや行政書士事務所代表、日本維新の会大阪府枚方市支部政調会長等。＜趣味＞読書、スポーツ観戦、神社仏閣巡り、観劇。



政策や活動の詳細はウェブサイトやSNSをご覧ください



ウェブサイト



Facebook



Twitter



LINE 公式アカウント

「友だち登録」をお願いします



右のQRコードをスマートフォンやタブレット型端末のLINEアプリで読み取り「友だち追加」ボタンを押してください。

